

今後の部活動の地域展開 キーポイントは持続可能な地域クラブの育成

「持続可能な地域クラブ」に展開するために！

本町は、武道の指導者が多く、特に剣友会など地域で活動している団体の指導者からの質の高い指導を受けています。

この地域資源を生かし、地域活動の充実とこどもの健全育成につなげるため、地域と連携して活動されている宇美中学校剣道部に注目し、顧問と生徒にお話を伺いました。

剣道人口をどう増やすか



宇美中学校剣道部顧問
中村亮太先生

中村先生は、本町出身で小学4年生から剣道を学び、現在は中学校部活動で生徒を指導しています。

宇美中学校剣道部は、地域とのつながりも深く、保護者の方々も協力的です。部活動の地域展開の先進的なモデルとなるよう頑張っています。

部活動の地域展開後は、宇美剣友会（スポーツ協会加盟）や宇美剣友会少年剣道（スポーツ少年団加盟）との連携が重要です。

宇美剣友会には、人徳かつ技術的にも素晴らしい指導者が在籍しています。伸び伸びと剣道を行う環境をこどものために作ってきたいと思います。

私は、来年度で定年を迎えますが、自分を育ててくれた地域への恩返しとして、剣道を通じて青少年の健全育成に携わっていきます。

現在、剣友会の問題は、小学生の剣道人口が減少していることです。小学生の剣道人口が減少すると将来の中学生の活動にも影響があります。

そこで、剣道の練習を行う前に武道館で学習支援を行うなど、小学生の加入促進につながる新たな取組を考えています。

議会コメント



厚生文教常任委員会では、本年度の研究テーマを「部活動の地域展開」とし、地域展開がスムーズに進むよう現状把握するとともに、持続可能な地域クラブの育成を支援していく予定です。

安心して活動できる環境整備や費用負担が極力少なくなるよう、財源の確保などを模索していきます。



町立武道館で稽古に励む剣道部員

剣道部は、町内3中学校のうち、宇美中学校のみ（現在男子12名、女子4名が所属）です。

剣道部に入部するために、町内の他の中学校から宇美中学校へ通学している部員もいます。

僕らと一緒に剣道やろうよ



宇美中学校剣道部
副主将 宮本惺矢さん

中体連の糟屋区大会では、個人戦2位となりました。

筑前地区大会でも上位入賞し、県大会に出場する目標を持っています。

町立武道館という素晴らしい稽古場で、中村先生をはじめ、剣友会の先生方の指導を受け、メキメキ上達しているのを実感しています。

剣道部員を増やすために、チラシを作るなど広報活動を充実させて、小学生団員を増やしていきたいです。

部活動の地域展開とは

これまで教員が担ってきた部活動を、地域のスポーツクラブなどの法人が主体となった地域クラブに展開することです。

生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術活動を続けられる環境づくりや、教職員の働き方改革を目的としています。

国は、令和8～13年度を中学校部活動の「改革実行期間」と位置付け、休日は全ての部活動を地域に展開、平日は地域の実情に応じた取組の実現をめざしています。

宇美町のこれまでの取組

町は、NPO法人ふみの里スポーツクラブと委託契約を結び、令和4年度から運動部活動の地域展開を開始しました。

令和5～6年度には、宇美町地域クラブ活動推進検討委員会で議論を重ね、町の部活動の未来を見据えた活動指針「うみ活モデル」を策定しました。

うみ活モデルは
こちらから



「部活動の
地域展開に向けて」
宇美町教育委員会
ホームページ



令和9年8月からは4つの部活動を、 平日も含め地域展開へ

剣道・野球・サッカー・吹奏楽の4つの部活動を、3中学校でそれぞれ1つの地域クラブに集約し、平日も含めて地域に展開する方針です。

3中学校で1つの地域クラブとして、中体連の大会やコンクールにも出場できます。平日は当面、教職員（兼職兼業）を中心に実施していく予定です。



保護者説明会のようす

議会が考える部活動の地域展開の課題

① 平日の活動の実施

平日の指導者を確保することは容易でなく、当面は教職員による兼職兼業で対応することが多くなります。

② 指導者の質・量の確保

安全な指導を行っていくために、指導者に対する研修機会の確保や公認指導者資格の取得など、指導者の質と量を確保していく取組が必要です。

③ 活動費用の確保

現在、保護者の費用負担はありませんが、今後クラブ数の増加などで費用負担が発生することがあります。費用負担を行う場合は、低廉な価格となるよう工夫する必要があります。

④ 生徒や保護者の理解

部活動の地域展開の理解に向けて、今後も広報活動や説明会の開催などを重ねていくことが大切です。